

8/24(火)「内田雅章×山下弘司×安達充ジョイントライブ」開催!!

三人の表現者が届ける「世代のつながり」

今年の4月より、山下弘司先生の「名前のことだま」と安達充の「ソングレター」のコラボレーションのライブを開催してきました。

「日本語の一言一音に意味がある」と伝える山下先生から「ことば」についての解説を聴き、その「ことば」を、安達充が演奏するたった一人のための「ソングレター」に乗せて体感する...

両者のライブは、「ことば」と「音楽」の新たな形のコラボレーションライブだといえるでしょう。

各月ごとにそれぞれテーマを設定し、4月のライブは「桜」、5月のライブは「母の日」、6月は「父の日」というテーマで開催。そして7月は「命」ということについて、腰塚勇人さんをゲストにお送りしました。

お盆といえば、先祖を供養する行事であると同時に、先祖と自分とのつながりを確認するための機会でもあります。

それはまた、日本人が古くから大事にしてきた概念です。

ただ、つながりという概念を「テーマに掲げた時、果たして、先祖とのつながりだけでいいのだろうか？」という疑問が頭をよぎりました。

両親とのつながり、祖父母とのつながり、子供とのつながり、仕事を通じて出会う人とのつながり...

私たちは、日頃人とのつながりについて、大切にしようと思いつつ、なかなか出てこないのが実情ではないでしょうか？

「人間」という字は「人」と「人」との「間」と読めます。この「間」にあるものを「つながり」とするならば、この言葉自体が、「人」とのつながりを意識してこそ、「人間」ということを教えているのかもしれない。

そんな中、「図解「人脈力」の作り方」という本がある。内田雅章さんとお会いする機会がありました。日本の社長500人と「即アポ」がとれる驚異の「人脈力」をお持ちの方です。

内田さんの話を聴き、この本を読ませていただくこと、そこにはビジネスを成功させるための人脈術というよりも、「人とのつながり」を誰よりも大切にしたいという想いがあるのを感じました。

「人とのつながり」というのは、言葉を変えれば「人脈」です。人脈を大切にしている方は、そのまま「人とのつながり」を大切にできる人でもあるのだと思います。

内田さんは、自ら発起人となって、9月8日に「世代をつなぐ会」という会を立ち上げられます。

「50代、60代、70代の先輩の知識・経験を、20代、30代の若者世代に継承する」という趣旨は、和の精神を大切にしていることだ。そして、「名前のことだま」でも非常に大事にして「つながり」を重視している「ソングレター」の世界とも合致するものでした。

そこで今回の「名前のことだま×ソングレターライブ」は、この「世代をつなぐ会」の応援企画として、内田雅章さんにも加わっていただき、三者共通のキーワード「世代のつながり」をテーマにライブを開催します。

1部は、山下弘司による「ことだま解説」と安達充による「ソングレター」の生演奏。そして2部では、内田雅章さんの講演を、安達充が音楽でさらに感動的に演出します。

「参加者全員、心がつながり、世代をこえて一つになる」。そんな時間を一緒に過ごせること心から願っています。



『図解「人脈力」の作り方』
内田雅章著 (講談社+α文庫)

「人とのつながり」というのは、言葉を変えれば「人脈」です。人脈を大切にしている方は、そのまま「人とのつながり」を大切にできる人でもあるのだと思います。

「世代をつなぐ会」内田さんは、自ら発起人となって、9月8日に「世代をつなぐ会」という会を立ち上げられます。

「ことば」と「音楽」の新たな形のコラボレーションライブだといえるでしょう。

「つながり」と「人脈」そんな中、「図解「人脈力」の作り方」という本がある。

「世代をつなぐ会」の応援企画として、内田雅章さんにも加わっていただき、三者共通のキーワード「世代のつながり」をテーマにライブを開催します。

お盆といえば、先祖を供養する行事であると同時に、先祖と自分とのつながりを確認するための機会でもあります。

「つながり」と「人脈」そんな中、「図解「人脈力」の作り方」という本がある。

「世代をつなぐ会」の応援企画として、内田雅章さんにも加わっていただき、三者共通のキーワード「世代のつながり」をテーマにライブを開催します。

株式会社就職課 創業者 内田雅章

1970年9月生まれ。愛知県出身。1994年早稲田大学を卒業後、三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行。システム部、東京本部審査部等を経て、2000年に退行。その後、マンションデベロッパー、仕出し弁当販売、銀座のクラブ経営などを経て、日本ベンチャー協議会事務局長に就任。そこで培った社長ネットワークを活かし、2004年株式会社就職課を設立。学生キャリア新聞の発行および就職・採用に関する書籍のプロデュースや大学での講演などを行っている。また自らの体験から得た人脈作りのノウハウをベースに、「人間関係の作り方」や「起業に必要な力」など、内田流を一人でも多くの方に伝える場として、朝食会や講演会、人脈塾などを開催し、次世代の育成に励んでいる。

この9月には世代間交流の促進をはかるべく「世代をつなぐ会」を立ち上げる予定。主な著書に『図解「人脈力」の作り方』(講談社+α文庫)、『加速上昇』(ビジネス社)、『3年間は言いなりにになりなさい』(サンマーク出版)などがある。

趣味はテニス・ゴルフ・囲碁・散歩・まんが喫茶。

【公式サイト】<http://www.uchida-masaaki.jp/>

ことだま教師 山下弘司

ことだま教師&命名言堂学協会代表。福岡県生まれ。現在名古屋市中区在住。日本の教習「言堂」を基本として人が幸せになる「名前のことだま(命名言堂学)」を2001年に独自に開発。現在、全国に講座などを通して普及展開中。「氏名は使命」「改名から解明へ」「転職から天職へ」が「名前のことだま」で伝えたいこと。著書に『名前セラピー』でおなじみのひすいことらう氏とタッグを組んだ『人生が100倍楽しくなる名前セラピー』(毎日コミュニケーションズ)がある。

名前のひとつひとつの音の意味をひも解くことによって、その人の使命や生まれてきた理由を伝えられている。

【公式サイト】<http://www.kototama-himehiko.com/>

ソングレターアーティスト 安達充

1979年3月生まれ。立教大学卒。2004年1月から活動開始。その中で、誰かの想いを歌にして贈る「ソングレター」を独自の作曲スタイルとして確立。3年間の活動をを経て、2007年から商標も取得し「ソングレターアーティスト」を名乗る。

誰かの想いを込めた手紙が即興で歌になり、言葉だけでは伝わらない想いが感動的に伝わる体験をした人達から、様々な形で作曲依頼を受けている。日経B社発売のDVD『夢力(ゆめちから)』の主題歌に「声を暖まして」等が収録される。また、ベストセラー作家であり年間200本以上の企業講演を依頼される人気セミナー講師平野秀典氏から、著書『共感力』への作曲依頼を受け、『あの日の君と僕に、そっと伝えたいこと』を制作。全国4ヶ所で共演。(2009年には音楽の殿堂サントリーホールでも共演。)

最近では、常盤貴子主演映画「引き出しの中のラブレター」DVDにて「ツイッターのつぶやきが歌になる」というキャンペーンで作曲を担当。現在Youtubeにて公開中。

【公式サイト】<http://song-letter.jp/>

『世代をつなぐ会』立ち上げ応援企画 内田雅章×山下弘司×安達充ジョイントライブ

【日程】2010年8月24日(火)
【時間】19:30~21:30 (19:00開場)
※終了後に懇親会も予定しています。
【場所】スタジオSKホール
※東京都杉並区梅里1-7-7 (丸の内線「新高田駅」徒歩1分)
【出演】内田雅章、山下弘司、安達充

【参加費】※当日、受付にてお支払い下さい。
通常申込の場合：5,000円
2名以上の場合：4,000円
学生の場合：3,000円

【申込方法】安達充HP<http://bit.ly/aG8llk>から申し込むか、件名を「8月ライブ参加希望」としてメールして下さい⇒ma@song-letter.jp
1.お名前 2.メールアドレス 3.チケット枚数 4.備考(学生割引の適用など)



【1部】安達充の「歌」と山下弘司の「ことだま解説」
【2部】内田雅章「講演」+生演奏(注)写真は先月の例です。